

各位

一般社団法人 日本陸用内燃機関協会

陸内協 第18回技術フォーラム2018開催のご案内

拝啓 清秋の候、貴社ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。
日頃は当協会の活動に格別のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、厳しい経済環境の中で優れた魅力ある新製品開発・研究等に日々ご努力されておられるものと拝察いたします。

当協会といたしましても、技術的課題の解決の一助になればと思い、第18回技術フォーラムを開催いたしますので、多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

本年は陸内協70周年記念大会として、会員会社様2件の講演に加え、「電動化の波と内燃機関の将来」をテーマに特別講演を2件及び全体討論会を予定しております。

- ①【特別講演1】電動化時代のエンジン
- ②【特別講演2】ガソリン SI エンジンの低温燃焼技術の最先端
- ③ エンジン開発における過渡性能予測モデルの活用
- ④ 小型汎用エンジンの電子化
- ⑤ 全体討論会

敬具

-
- 日時** : 平成30年10月25日(木) 13:00 ~ 17:15
- 会場** : 東京工業大学 デジタル多目的ホール
東急目黒線 大岡山駅 又は 東急大井町線 大岡山駅下車 徒歩5分
東京都目黒区大岡山2-12-1
- 主催** : 一般社団法人 日本陸用内燃機関協会
- 定員** : 200名
- 参加費** : 陸内協会員、協賛団体会員: 5000円(テキスト代を含む)
会員外: 7000円(同上)
支払期限: 平成30年11月30日(金)
- 申込方法** : 添付の申込書をご利用下さい。
- 申込締切** : 平成30年10月5日(金)
- 問合せ先** : 一般社団法人 日本陸用内燃機関協会
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-2-31
Tel: 03-3260-9101 Fax: 03-3260-7965
Eメール: yamada@lema.or.jp



陸内協主催：第18回技術フォーラム2018 プログラム

日 時：平成30年10月25日(木) 13:00～17:15

場 所：東京工業大学 デジタル多目的ホール

1	挨拶	(一社)日本陸用内燃機関協会 専務理事	大橋 一生	13:00～ 13:07
2	事務局連絡	事務局	山田 勝彦	13:07～ 13:10
[講演テーマ]			[講演者]	
5	【特別講演1】電動化時代のエンジン	自動車用エンジンは過去100年以上、時代の要請に基づいて進化を遂げてきた。今注目の電動化の動きに対しても、存続をかけた新たな進化が必要である。それがどんなものか、現在進行中の動きを基に予想してみる。	(株)ティラド顧問 田保 栄三	13:10～ 13:50
6	【特別講演2】ガソリンSIエンジンの低温燃焼技術の最先端	全国の22大学(29クラスター)がチームを編成して「高効率ガソリンエンジンのためのスーパーリーンバーン研究」を推進。強いタンブル流動とスーパー点火装置の導入により Broken Reaction Zone と呼ばれる領域での乱流燃焼技術により、HCCI燃焼に代わる超希薄低温のSI燃焼を実現。冷却損失を大幅削減することで、SIエンジンの究極の熱効率50%の実証を目指す。同チームの研究開発の最先端を紹介する。	慶應義塾大学 特任教授 SIP「革新的燃焼技術」ガソリン燃焼 チーム責任者 飯田 訓正	13:50～ 14:30
..... 休 憩				14:30～ 14:40
3	エンジン開発における過渡性能予測モデルの活用	ディーゼルエンジンは、ターボチャージャーやEGRの採用によりシステムの複雑化、電子制御化が進む。性能を発揮するためにはシステムの最適制御が重要であり、性能予測モデルを活用した最適制御手法について紹介する。	三菱重工業(株) 山本 高之	14:40～ 15:15
4	小型汎用エンジンの電子化	小型汎用ガソリンエンジンにおいて、従来の気化器式と搭載互換性を有する汎用性の高い燃料噴射システムの紹介、及び始動専用リチウムイオンバッテリーを用いた MiLAi スタートを紹介する。	三菱重工業(株) 牧 和宏	15:15～ 15:50
..... 休 憩 / 次の討論会準備				15:50～ 16:00
6	全体討論会 (パネルディスカッション)	司会 慶應義塾大学教授 パネラー 北海道大学教授 東京工業大学教授 千葉大学教授	飯田 訓正 小川 英之 小酒 英範 森吉 泰生 講演者 各位	16:00～ 17:15